

Mizuho Daily Market Report

2023/9/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.88	149.07	+0.19	+1.21
EUR	1.0586	1.0572	▲0.0021	▲0.0107
AUD	0.6403	0.6397	▲0.0027	▲0.0057
SGD	1.3683	1.3689	+0.0026	+0.0041
CNY	7.3121	7.3112	▲0.0008	+0.0139
MYR	4.6915	4.6908	+0.0043	▲0.0057
THB	36.35	36.36	+0.23	+0.41
IDR	15497	15490	+90	+110
PHP	56.96	56.97	+0.19	+0.20
INR	83.23	83.24	+0.09	▲0.03
VND	24431	24385	+0	+43

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.536%	+0.2 bp	+17.7 bp
日本(10年)	0.741%	+0.5 bp	+2.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.808%	+1.0 bp	+7.0 bp
オーストラリア(5年)	4.110%	+6.5 bp	+18.7 bp
シンガポール(5年)	3.354%	+2.5 bp	+11.7 bp
中国(5年)	2.540%	▲0.3 bp	+2.4 bp
マレーシア(5年)	3.724%	+1.9 bp	+6.4 bp
タイ(5年)	2.881%	+3.6 bp	+12.0 bp
インドネシア(5年)	6.494%	+8.5 bp	+8.2 bp
フィリピン(5年)	6.118%	▲0.9 bp	+2.9 bp
インド(5年)	7.170%	▲1.5 bp	+0.7 bp
ベトナム(5年)	1.950%	+0.0 bp	+24.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,618.88	▲1.1%	▲2.6%
N225(日本)	32,315.05	▲1.1%	▲2.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,129.18	▲0.9%	▲2.7%
ASX(オーストラリア)	4,136.92	▲0.1%	▲0.4%
FTSE(シンガポール)	3,215.07	▲0.0%	▲0.8%
SSEC(中国)	3,102.27	▲0.4%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	65,945.47	▲0.1%	▲2.4%
SETI(タイ)	6,923.80	▲1.1%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	1,445.55	+0.1%	▲0.8%
PSE(フィリピン)	6,263.94	+1.5%	+3.6%
SENSEX(インド)	1,494.02	▲0.9%	▲1.9%
VNIINDEX(ベトナム)	1,137.96	▲1.3%	▲6.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.72	▲0.1%	▲1.8%
金	1,900.65	▲0.8%	▲1.6%
原油(WTI)	90.39	+0.8%	▲0.9%
銅	8,034.15	▲0.5%	▲2.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	148.00	—	150.00
EUR/USD	1.0530	—	1.0630
AUD/USD	0.6360	—	0.6460
USD/SGD	1.3620	—	1.3700
USD/CNY	7.2900	—	7.3400
USD/INR	4.6800	—	4.7090
USD/THB	36.30	—	36.60
USD/IDR	15460	—	15500
USD/PHP	56.80	—	57.20
USD/INR	82.80	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台後半でオープン。昨日の米長期金利の上昇も支えとなり日中のドル円は底堅い推移となった。東京時間クローズ前には高値149円台前半を付けそのまま海外時間に渡った。

アジア通貨はタイバツとインドネシアルピア主導で下落。米経済の底堅さを示す兆候や米連邦準備理事会(FRB)のタカ派的な姿勢が米国債利回りを16年ぶり高水準に押し上げ中、堅調なドルに圧迫されている。

海外市場のドル円は、鈴木財務相が「高い緊張感を持って市場動向見ている」との見方を示した事を受け、為替介入への警戒感から円買いが進み、148円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米8月新築住宅販売件数と米9月CB消費者信頼感指数が共に予想を下回ったことからややドル売りとなったものの、148円台後半で小動き。午後は膠着感が強い展開が続く、終盤には149円台前半まで小幅上昇し、そのままクローズ。

【金利】

米債利回りは前日終値比ほぼバラレルで小幅低下。前週の9月FOMC発表後、利上げ継続観測が持続する中、金利は高値圏で推移しているが、本日も前半で債券買い戻しがみられたものの、日中の動きはレンジ推移となった。午後に発表された2年物国債の入札結果の影響は、市場には限定的だった。

【予想】

本日のドル円は引き続き底堅い値動きを予想。150円が目前に迫っており、引き続き円安けん制発言に対する警戒感はあるものの、基本的にはドル買い優勢の展開が続くものと思われる。日銀が取るカードも限定的であると言え、残弾を数え始める展開は避けたいのも正直なところか。

【本日の予定】

- (日本) 7月 日銀 議事要旨
- (日本) 7月 景気動向指数(確)
- (日本) 8月 工作機械受注(確)
- (日本) 輪番 3-5y、5-10y、10-25y、25y超
- (アジア) 8月 豪 CPI
- (アジア) 8月 金融政策会合
- (欧州) 10月 独 GfK消費者信頼感
- (欧州) 7月 西 住宅融資総額 / 住宅ローン承認
- (欧州) 8月 独 小売売上高
- (欧州) スペイン首相指名選挙
- (欧州) 独 国債入札(10Y)
- (米国) 8月 耐久財受注(速)
- (米国) 8月 製造業受注-資本財(速)
- (米国) FRN入札(2Y)
- (米国) MBA住宅ローン申請指数
- (米国) 国債入札(5Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。